



ご ぼ う や ま い せ き 午王山遺跡だより

Vol.7
2024.6.25



午王山遺跡の土地を新たに「追加指定」することについて
文化審議会の答申がありました！



和光市教育委員会は新たに土地所有者にご同意いただくことができた午王山遺跡の土地について、追加指定して保護することを文部科学大臣に意見具申いたしました。

それを受け、文部科学大臣は国の文化審議会に諮問したところ、令和6年6月24日付けで新たに範囲の追加指定をすることについて文化審議会としての答申がありました。

答申された午王山遺跡の追加指定は、官報告示をもって追加指定されることが予定されています。

○名称：午王山遺跡

○場所：和光市新倉三丁目 2829 番 5 ほか

○追加指定後の面積：18,601.53 m²（509.23 m²を追加指定予定）

○特徴・評価：

午王山遺跡は、武蔵野台地の北東端部の独立丘上に位置する弥生時代の環濠集落である。東日本では例が極めて少ない多重環濠を有し、住居跡と出土遺物の多様性から広域の地域間交流の実態を示す重要な遺跡であるとして令和2年3月に史跡に指定された。今回は条件が整った部分が追加指定となる。

（埼玉県報道発表資料に一部加筆修正）

和光市教育委員会は、引き続き午王山遺跡の追加指定や公有地化を推進しながら、史跡午王山遺跡の保存・活用・整備を目指します。

みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。



午王山遺跡空中写真（2019年撮影）



午王山遺跡で確認された環濠（第7次調査A溝）

午王山遺跡で発掘調査を実施しました！

和光市教育委員会は、史跡の保存を目的に午王山遺跡で発掘調査を実施しました。今回の調査では、北側斜面の遺構の有無を確認することとともに、「午王山遺跡の北側を巡る環濠がどのように伸びていくのか？」ということを念頭に置いた調査でした。

調査地点は過去の耕作等によって遺構の遺存状況はあまり良好ではなかったものの、令和5年12月19日に午王山遺跡調査指導委員会の先生方に現場を確認いただき、過去に検出された環濠が、午王山遺跡の北側を廻るように伸びる可能性が確認されました。



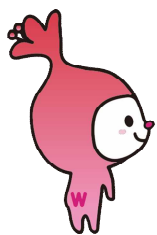
発掘調査の様子



午王山遺跡調査指導委員会による調査指導

午王山遺跡の発掘現場を公開しました！

令和6年1月10日に発掘調査の現場公開を行ったところ、35人の方々が午王山遺跡にお越しになりました。みなさん熱心に調査成果に耳を傾けていらっしゃいました。



調査担当者による説明の様子



調査担当者による説明の様子

午王山遺跡で測量調査等が行われます

午王山遺跡で以下のとおり測量等の調査が行われます。

調査期間：令和6年6月21日（金）から

令和6年7月31日（水）（予定）

期間中は道路等で調査員が機材を使用して調査を行います。

ご理解の程よろしくお願いいたします。



編集：和光市教育委員会生涯学習課文化財保護担当

電話：048-424-9119（直通） E-mail：h0300@city.wako.lg.jp

発行：令和6年6月25日